

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、18～23℃台を示し、平年並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——西彼地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の1.5倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり1トンの水揚げで前週の50%（前年を下回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり17トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の43%。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり23kgの水揚げで、前週の39%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり1.6トンの水揚げで、前週の62%（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり51kgの水揚げで前週並み（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり1.1トンの水揚げで、前週の1.8倍（前年を上回った）。
- 定置網——五島有川地区では、トビウオなどが1日1統当たり628kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり282kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり200kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、イサキが1日当たり128kgの水揚げで、前週の3.8倍（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（5/30～6/3の5日間）沖合イカ釣り船、船凍船は毎月10～11日出漁予定。赤イカは太平洋で操業中。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～兵庫沖～能登半島にかけて出漁した。

鳥取県西部（沖合船）入港船なし。今期も山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～兵庫沖～能登半島に漁場を形成した。漁場は今期も山口沖、隠岐諸島周辺となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第2-14号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果・第2-15号 長崎県周辺海域の海面水温（6月号）」を長崎県庁ホームページに掲載しています。

長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧ください。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>